



すすんで学ぶ子
心豊かな子
たくましい子

中宮

令和6年10月2日
第671号(10月号)
枚方市立中宮小学校
校長 西嶋 日美



平和への思いを胸に広島へ(修学旅行)

9月26日から27日にかけて、6年生が広島・岡山・兵庫へ修学旅行に行きました。広島の平和記念公園では、これまで学んだことをセレモニーという形で発表します。出発前に担任の先生が「今まで学んだことを実際に体験することで、あなたたちの中に色づいていく」と話されていたことが印象に残っています。今年度、中宮小学校では、学校全体で平和学習を行い、各学年それぞれの成長段階にあった内容を学びました。6年生は、国語の「模型のまち」や社会科の歴史の中でも戦争・そして平和について深く考えてきました。原爆ドームを見た時、6年生が「これが、あの原爆ドームなんだ」「アオギリはどこにあるんだろう」と今までの学習とつなげて、感慨深くつぶやいていたこと、これが今回の修学旅行の一番の宝物であったと思います。セレモニーでは、「Orizuru」の歌を捧げました。その場所には、いろいろな土地からやってきた子どもたち、海外の人がたくさんいましたが、黙とうでは心が一つになったような気がしました。6年生の美しい歌声が平和へのハーモニーとなり、今なお世界中でつらい思いをしている人たちへ届いてほしいと思います。平和はただ享受するだけではなく、守っていくものであることを強く感じました。

修学旅行では、いつもと違った場所での行動となることから、本来の子供たちの姿がよく分かります。引率して強く感じたことは「絶対に他者に迷惑をかけない」という学年の強い思いです。中宮小学校の6年生にとって大切な修学旅行であるとともに、他の人にとっても大切な一日であるということ、この考え方が6年生にはしっかりと浸透していました。電車の中で席を譲り、会話を控え、体調が悪くなった友だちへの気遣いやさりげない優しさ、相手のことを考え行動できる様子は、まさに中宮小学校の最高学年の姿でした。



給食完食習慣

字の間違いではありません。中宮小学校では、「〇〇週間」をあえて「〇〇習慣」と表記し、その期間しっかりと身につくように取り組んでいます。

9月の児童集会では、給食委員会から給食完食習慣のお知らせがありました。「9月17日から20日まで給食完食習慣が始まります。作ってくれた人の気持ちを考えて残さず食べましょう。世界には、食べ物がないで困っている人達もたくさんいます。給食完全習慣は、大おかずと小おかずをカウントします。給食は、残さず食べましょう。」給食委員会が給食後、計量をしてくれます。空になった食缶はとても気持ちのよいものです。栄養バランスの取れた給食をしっかりと、健康な身体を育てていきましょう。



秋の夜長、読書をしてみませんか

9月30日からは、読書月間が始まります。何やら、図書室でも読書月間の為に様々な掲示が始まっています。先生方からの「おすすめの本」も紹介されていました。司書教諭の先生が、みんなが楽しく本が読めるように図書室を整えてくれています。最近ではデジタルなものが増え、紙ベースの本はなかなか読む機会が減ってきています。しかし、本を読むことは自分の知識を増やし、イメージの世界を広げます。何より、読書って本当に楽しいですね。

私の大好きな本の一つとして「南総里見八犬伝」があります。江戸時代に書かれた長い長い物語です。簡単なあらすじは「伏姫という里見家の聖女が、八人のヒーローの「魂」を生み、その「魂」は「玉」の形で各地に散らばり、改めて人間の子供として生まれます。その子供たちは共通して「犬」の字を含む苗字を持ち、それぞれに仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌の文字のある数珠の玉(仁義八行の玉)を持ち、牡丹の形の印が身体のどこかにあるのです。八犬士は、大きく育ち自分の使命を知り、やがて里見家に集結し、力を合わせて……」というものです。4年生の時に、実は自分は八犬士の子孫かもしれないと思いでキドキしながら読んでいました。また、右図のように同じ内容でも挿絵が違くと全く異なる印象を受けます。秋の夜長、家族で好きな本の話をしながらか、読書をしてみてください。



【お願い】

公共の物を大切にする心の育成のため、ご協力願います。図書室の本を紛失された際は、同じ本を購入し(古本可)、返却して下さい。